

ばらの11～4月出し及び5～10月出し栽培における適品種の選定							
<p>【要約】 ばら新品種のうち、本県の11～4月出し栽培で採花本数が多く、切花品質が優れる品種として大輪系では「ローテローゼ」、「ルーレット」、「ハウトピンク」、「カリンカ」、5～10月出し栽培では「ローテローゼ」、「メイロルール」、「ルーレット」が適し、スプレー系では「ホワイトミミ」及び「リトルシルバー」の2品種がよい。</p>							
園芸研究所・野菜花き部・花き花木研究室					連絡先	092-922-4111	
部会名	園芸	専門	栽培	対象	花き類	分類	普及

【背景・ねらい】

ばらの切り花は市場価格が高く、需要も多いため、県内において生産が拡大している。従来から市場性のある品種を導入してきたが、ヨーロッパやアメリカ等で育成された品種が主体であったために、採花本数や切花長等について不明な点が多い。そこで、本県の主要作型である11～4月出しの冬切り及び5～10月出しの夏切り栽培での特性を明らかにし適品種を選定する。

【成果の内容・特徴】

- ① 11～4月出し栽培では、「ローテローゼ」、「ルーレット」、「ハウトピンク」及び「カリンカ」は対照品種の「ソニア」及び「カールレッド」より上物率が高く、切花品質が優れている。「メイロルール」、「メイトルミン」及び「ヨニナ」は採花本数は多いが、上物率が低い。また、「バルカロール」は低温で花卉が黒ずみ、品質が低下しやすい(表1)。
- ② 5～10月出し栽培では、「ローテローゼ」、「メイロルール」及び「ルーレット」は採花時の切花長が長く、上物率も高い。「メイトルミン」、「エスメラルダ」、「ツウエラ」、「メイクリマール」及び「ヨニナ」は高芯剣弁で花型は優れているが、切花長が短く、上物率も低いため利用できない(表1)。
- ③ スプレー系品種では、対照品種の「ミミローズ」に比べて「ホワイトミミ」及び「リトルシルバー」の2品種の切花品質が優れている(表2)。

【成果の活用面・留意点】

- ① 加温及び無加温施設を利用したばらの切り花栽培地域における品種導入の資料に活用する。
- ② 1～2月の低温期に出荷する場合には栽培夜温は18℃の高目で管理して、花色発現を促す必要がある。
- ③ 「カリンカ」及び「リトルシルバー」はうどんこ病に弱いので、薬剤防除に努める。

[具体的データ]

表1 11~4月出し及び5~10月出し栽培における採花本数と品質(平成3,4年)

品 種	花 色	冬切り(11~4月出し)				夏切り(5~10月出し)			
		採花	切花	上物	品 質	採花	切花	上物	品 質
		本数	長	率		本数	長	率	
		本	cm	%		本	cm	%	
ローローゼ	赤色	13	58.2	73	○	16.9	51.6	65	○
メロルル	赤色	24	58.2	52	○	17.5	51.3	60	○
ハルカール	赤色	11	62.1	78	○	13.1	58.3	70	○~○
ルレット	朱赤色	12	58.0	74	○	15.0	52.3	63	○
メクリミン	朱赤色	20	46.3	22	△	17.9	43.3	18	△
エスマルク	濃桃色	15	43.0	20	○	12.6	44.3	18	△
ツウエラ	桃色	17	40.1	25	△	18.3	37.2	14	△
メクリマル	淡桃色	18	50.2	53	○	16.8	46.2	43	△
ハウトビク	濃桃	12	58.0	61	○	12.3	55.0	40	○
カリカ	桃色	15	56.2	70	○	13.5	51.0	36	○
シカバ-87	桃色	12	55.0	58	△	16.3	50.0	30	○
ヨニナ	白色	20	53.0	55	△	20.2	43.0	40	△
カールット	赤色	10	50.7	60	対	14.6	50.0	62	
ソニア	桃色	19	47.2	55	照	17.0	42.1	40	

注) ①採花本数: 冬切り栽培は11~4月まで3回採花、夏切り栽培は5~10月まで3回採花。

②上物率: 切花長50cm以上のもの

③品 質: ○有望、○普通、△不良

表2 5~10月出し栽培におけるスプレー系ばらの採花本数と品質(平成4年)

品 種	花 色	採花本数	切花	花蕾	上物	品
		5~10月	長	数	率	質
		本	cm		%	
初イトミ	白色	14.0	46.2	4.0	60	○
リトルルル	藤紫色	25.2	35.6	12.5	35	○
ピクテライト	桃色	12.2	38.2	10.5	30	○
エブリン	桃色	10.5	42.1	17.8	50	△
ミジヨリ	赤紫色	8.2	46.0	24.2	40	△
ベビーク	桃色	6.1	30.1	14.5	10	△
ミローズ	桃色	14.3	47.2	4.3	70	

注) ①採花本数: 5~10月までの本数

②上物率: 切花長30cm以上のもの

③品質: ○有望、○普通、△不良

[その他]

研究課題名: バラの品種選定

予算区分: 経常

研究期間: 平成4年度(平成3~4年)

研究担当者: 坂井康弘、小林泰生、谷川孝弘

発表論文等: 平成3~4年度園芸研究所野菜花き部花き花木研究室試験成績書